

## 2025年度 教職プロ講座（小学校教諭・特別支援教諭）「現役の先生の話を書く会」実施報告書

2025.11.12 担当：教職課程

### 1 開催目的

- (1) 現役教師から教職のやりがい、教師としての喜びや楽しさ等の話を聞き、教職の魅力や意義、課題等を学ぶ。こうした体験を自らのキャリア形成と結び付け、大学での主体的な学習態度や探究的な生き方に生かす。
- (2) 教育についての理念や実践の在り方、児童との関わり方等の見方・考え方を深める。

2 開催日時 2025年11月12日（水）17:20～18:50（1時間30分）

3 会場 ヒューマンケアB棟 HB302教室

4 参加者（学生及び教職員：81人）

- ・教職プロ講座1～4年生の希望者 67人
- ・教職員 11人  
児童発達教育専攻（大嶋）  
教職課程 10人  
教職センター3人

5 内容及び講師（外部講師）

- (1) 内容：講演「教師のやりがいと素晴らしさ」  
質疑応答・意見交換
- (2) 講師：愛知県立港特別支援学校 教諭 加藤万理先生  
豊明市立中央小学校 教諭 榎本桃子先生  
(本学2023年卒業)

学年	専攻	人数	合計
1年	児童発達教育	22	24
	幼児保育	2	
2年	児童発達教育	12	16
	幼児保育	4	
3年	児童発達教育	10	10
	幼児保育	0	
4年	児童発達教育	11	17
	幼児保育	6	
合計	幼児保育	12	67
	児童発達教育	55	

6 進行（司会：教職課程）

- (1) 開会行事
  - ・挨拶及び本講座の位置付けについて（教職課程）
  - ・講師紹介（司会）
- (2) 講演 17:30～18:30（1時間）
- (3) 質疑応答・意見交換 18:30～18:40
- (4) 閉会行事 18:40～18:50
  - ・学生代表お礼の言葉  
(児童発達教育コース4年生)
  - ・感想用紙記入



7 会の様子と学生の感想

- ・それぞれの講師が、日々の仕事のやりがいを語ってくれた。参加者は真剣に聞き入っていた。
- ・先輩から話を聞くことで、自分の将来の姿を思い描きながら講演を聞くことができ、教職への不安や悩みを払拭することができたという感想が多くみられた。
- ・特別支援学校と小学校それぞれの特徴やよさがわかり、これからの選択の参考になったという感想が多くみられた。
- ・教師という仕事に対する憧れが一層強くなったという感想が多くみられた。

8 その他

- (1) 本会は教職プロ講座としてだけでなく、児童発達教育専攻の特別講座としても位置付けている。また、教職センターの協力もいただいた。
- (2) 講師への謝礼は、教職センター・教職プロ講座の運営経費より本学規定の金額を支出した。

以上